



# 緑 柏

校長室の窓から

## 段 取 り 力

校 長 下 釜 祐 保



夏休み、「ラジオ体操」が行われている。近くの小学生がカードを首からぶら下げ、まだ寝足りなさそうな顔つきで公園に集まって来る。毎年の夏の朝の風物詩だ。思わず「頑張ってるね」と声をかけたくなる。

♪ あたらしい朝がきた～ まずは早起きすることが、夏休みの1日1日を有効に過ごすための必要条件であり、子供たちの夏休みの生活スタイルにおいてラジオ体操に参加することの意義は大きい。

一方、高3生。「夏は受験の天王山」と称される。豊臣秀吉と明智光秀が山崎の合戦で、天下分け目の戦（いくさ）をしたとき、標高270mの天王山（現在の京都府乙訓郡大山崎町）を制した方が戦いを有利に展開できるとされ、激しい戦いになった。この故事に倣っての格言は有名だ。

目標を達成するためには、まず第1段階としてこれをやる、まずここでこれをやるという、優先してなすべき事を判断し、戦略的にエネルギーを注ぐ策略を「段取り」という。もともと歌舞伎の用語に由来するらしい。歌舞伎では、演目を構成する各パートのことを一段目、二段目…と呼び、演目の流れや演出などを打合せすることを「段取り」と呼ぶらしい。このことから、各パートや段階ごとの演出・取り組みという意味合いから引用されたという説が有力のようだ。

似た意味合いを有する言葉に、「下準備」、「用意」、「計画」などがあるが、それとは込めた思いという点でニュアンスが異なる。3年生が7月下旬に取り組んだ学習合宿は、受験のための「下準備」や「用意」では決してない。自己の進路希望実現に対する強い思いがあり、まずこの夏のこの時期に、このことに、これだけのことに集中する覚悟があつての取り組みであったはずだ。そういう意味で「段取り」であり、他の言葉では代用できない。

「段取り」には、計画通りにならない場合もあることを想定している。むしろ、予期せぬことや課題が生じることを前提にしている。だから、その場その場での折々の判断や選択、そして自己決定というものが存在する。「段取り」には、思いと想定と修正がすべて含まれている。だからこそ、「段取り」を積み重ねることとその結果としての目標達成は尊い。

「仕事は段取り八分」（仕事は段取りをしっかりとやればその8割は達成したも同然であるという意味）とも言われる。「段取り」は、事を戦略的に進める重要なスキルである。そういう意味で受験は「段取り力」の勝負とも言えよう。

言い古された言葉だが「夏を制する者は受験を制す」は、受験生としての段取りに示唆を与えている。1年生にも2年生にもその段階の夢・目標への段取りがあるはずだ。高校生の熱い夏は続く。まずはこの夏を制するように段取ってみよう。

## ○野球部・吹奏楽部壮行式

7月3日(水)、全国高等学校野球選手権大会県予選に出場する野球部と、全国高等学校吹奏楽コンクール県予選に出場する吹奏楽部の壮行式が開催されました。

式は、吹奏楽部の演奏に合わせた野球部の選手入場ではじまり、全校生徒が手拍子でこれを迎えました。野球部主将の小澤君、吹奏楽部部長の内山さんの決意表明、激励の言葉と全校生徒が思いを込めた横断幕の贈呈がおこなわれた後、吹奏楽部が課題曲「道標の先に」と自由曲「LES MISERABLES」の演奏を披露。最後は今回から応援部指揮で応援活動がおこなわれ、全校生徒から熱いエールが送られました。

◎ 野球部結果      第101回全国高等学校野球選手権長崎大会  
1回戦(対 長崎北陽台高)    3-8 (敗退)

◎ 吹奏楽部結果      第64回長崎県吹奏楽部コンクール    銀賞



## ○前期校内大会

7月10日（水）に前期校内大会が開催されました。男子がサッカーとバスケットボール、女子がドッジボールとバレーボールの予定でしたが、あいにくの天候により、男子のサッカーを押し相撲、女子のドッジボールを卓球に変更し実施されました。競技内容の変更にもかかわらず、生徒たちはどの競技においてもクラスの仲間と協力し合い、ひた向きに取り組む姿が見られました。各会場に生徒たちの笑顔が溢れ、思い出に残る校内大会になりました。

また、校内大会を運営するにあたり、体育委員や部活動生を中心に多くの生徒が、準備・運営に協力してくれました。大会結果は以下のとおりです。

### 平成30年度前期校内大会結果

#### 【男子】

押し相撲の部

優 勝	準優勝
3 - 3	2 - 6

バスケットボールの部

優 勝	準優勝
3 - 1	3 - 6

#### 【女子】

卓球の部

優 勝	準優勝
3 - 2	3 - 4

バレーボールの部

優 勝	準優勝
3 - 3	3 - 2



## ○オープンキャンパス

7月20日（土）に長崎大学オープンキャンパスが行われました。

本校からは文教キャンパス（多文化・教育・薬・工・環境・水産）、坂本キャンパス（医・歯）、片淵キャンパス（経済）に計109名がバス3台に分乗して参加しました。

当日は、各学部でそれぞれ学部概要の説明、コース・専攻の紹介、模擬授業や公開実験、学生との懇談会、個別相談など様々なイベントが企画され、生徒はそれぞれ興味ある学部学科の話の聞いたり、実際に講義や実験を体験したり、キャンパス内の施設を見学したり、学食で昼食を食べたりしました。将来の進路を考えるにあたり、刺激をうけるよい経験となりました。生徒は学んだことをレポートにまとめて提出することになっています。

7月14日、15日には長崎県立大学のオープンキャンパスにも参加しました。さらに8月3日～9日の期間には、九州大学、熊本大学、佐賀大学のオープンキャンパスにも参加します。

## ○学習合宿（一学年）

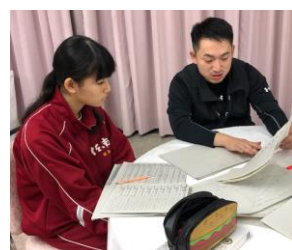
1年生は、7月22～25日の4日間、長崎市内にあるホテルにて学習合宿に臨みました。この合宿は「自学力強化合宿」とも呼ぶべきもので、TVやスマホ等あらゆる誘惑と距離を置き、ひたすら自分（の今までの学習方法、苦手、質問の仕方 etc...）と向き合い続けました。

1日10時間の学習、本当にがんばりました。1日の最後の1コマは、「自ら課題設定し、工夫した学習をする時間」と定め、それぞれが試行錯誤しながら「自分の学習」に努めました。初めは戸惑いが見られましたが、次第に脇目も振らず没頭する姿に変わり、私たち教員も、生徒たちのポテンシャルの高さと今後の大なる伸長を確信し、大変頼もしく見守ることができました。

「学習の楽しさ、分かる喜びに気付くことができた。」「学習を充実させるためのヒントを掴むことができた。」「やればできる！ 自信に繋がった。」という生徒の感想も多く見られ、この合宿が生徒一人ひとりにとって、学習に対する姿勢を確立する有意義な機会となったと感じています。

また、3年生は、25日～30日の5泊6日、同じく長崎市内のホテルで学習合宿を実施しました。その様子は、来月号にてお知らせします。

保護者のみなさまにおかれましては、この度の合宿に多大なご理解とご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。今後も学校が一丸となり、生徒らの学力伸長と希望進路の実現のため尽力いたします。どうぞよろしくお願い致します。



## ○8月行事予定

- 1日（木） オープンスクール
- 3日（土） Sプロ <3年>
- 9日（金） 平和学習 ブロック結成式



- 17日（土） 対外マーク模試<3年>  
～18日（日）
- 19日（月） 開始式  
校内実力 <1・2年>
- 20日（火） 校内実力 <2年>
- 22日（木） 海外研修希望者説明会
- 28日（水） 体育祭総予行

